

2019 11月

Vol.27

京丹波森林組合 もり 森林の便り

京丹波町の安心・安全な良い山づくり



(京丹波食の祭典2019会場風景 上 / 高性能林業機械の実演・下 / 木工教室と丸太切体験)



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集: 総務課



森林資源の循環利用をめざして

循環型山づくりの取組

京丹波町の面積の八〇%以上を占める森林の内、約四〇%がスギ・ヒノキの人工林です。また、この人工林のほとんどが戦後植林された林分であり、森林資源として収穫期を迎えています。

木は本来、苗木を植え、下刈・枝打ち・除伐・間伐をしながら育て伐採します。伐採した木は製材し製品として利用し、伐採を行った跡地には、再びスギ・ヒノキ等を植えるという一連のサイクルを繰り返すことが可能な大切な資源なのです。京丹波町の森林においても、森林資源の循環利用を目指し取組を始めています。

当組合では、京丹波町と連携し、循環型山づくりへの取り組みが皆様の所有森林でも普及できるように、平成二十八年度より町有林の皆伐・再造林に至る事業に着手しています。京丹波町と共同で運用する「森林資源量解析システム」を利用し皆伐適地を選定し、搬出に必要となる作業路網の予定路線を計画し新たな作業道を開設します。伐採現場では、スイングヤーダ・ハーベスタ等の高性能林業機械を使い、安全作業を最優先し低コストを目指した作業を行っています。一連の事業完了後には、現場作業の内容等を検証し、搬出コスト等の分析調査も行い、報告会も開催し関係者がその結果を共有すると共にお互い意見を出し合い協議し、次の事業に反映するべくコストの改善に努めています。



(搬出コスト分析報告会 会場風景)

町有林皆伐・再造林事業の実績 他

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度計画
面積 (ha)	1.33	2.58	4.30	10.00
出材量 (m ³)	886	1,638	2,590	4,560
再造林 (ha)	0.00	1.33	1.95	4.06



町有林皆伐現場での作業形態

作業現場の地形や前年のコスト分析結果を踏まえ、車両系や架線系の搬出システムを柔軟に選択・活用し、低コスト事業に取り組んでいます。

(1) 高性能林業機械（ハーベスタ他）を活用した車両系搬出システム



①伐倒/チェーンソー



②集材/スイングヤーダ
搭載する2基のワイヤードラム
を使用し簡易架線を架設・集材



③造材/ハーベスタ
伐倒・枝払い・玉切（測尺）を
1台で実施



④小(林内)運搬/フォワード
キャタピラで走行し搭載した
グラップルで積込む



⑤仕分・はい積/グラップル
グラップルで丸太を掴み大き
さや形質別に選別する



⑥積み運搬/大型トラック
搭載したグラップルで自車の
荷台に積込む

(2) 自走式搬器（ウッドライナー）を使用した架線集材システム



①伐倒/チェーンソー



②集材/自走搬器(ウッドライナー)
架線に吊り下げ自走しながら昇降するワイヤーをリモコンで操
作し集材する



※ ③造材/ハーベスタ以降は同内容



作業道等の災害復旧事業実施状況について

昨年の平成30年7月豪雨災害によって、京丹波町内の河川の氾濫等により農地や森林においては作業道等に甚大な被害が発生しました。被害を受けた作業道等について、当組合では「森林経営計画団地」として認定されている森林や各区長様、また、林業推進委員様から調査依頼を受けた箇所にて被害調査を行い、町内15集落から復旧工事の依頼を受け、京丹波町災害復旧支援事業を活用し、作業道等30路線で復旧工事を進め本年10月中旬に全ての工事が完了復旧致しました。

※京丹波町災害復旧工事費の支援

- ・区等が事業主体となり、作業道台帳に記載されている作業道の復旧工事費の約90%を補助

※ 排水管が詰まり路肩が崩壊した作業道



(施工前)



(施工後)

災害復旧事業個別明細

地区	集落名	路線名	路線数	事業費(円)	町補助金(円)
和知	升谷	奥の谷	1	325,080	292,000
	篠原	タコカ他	2	316,800	279,000
	長瀬	オクノギ他	2	1,530,360	1,377,000
	塩谷	宮ノ奥他	5	893,160	803,000
	下粟野	松尾他	4	721,440	649,000
	上粟野	東山他	2	438,480	394,000
	本庄	切迫	1	133,920	120,000
	坂原	夏ヤケ他	4	1,414,800	1,273,000
	角	ヤナ谷	1	197,640	177,000
	広瀬区	樋ヶ谷他	1	449,280	404,000
	安栖里	ケホウ他	2	331,560	298,000
	小畑	サルガ谷	1	280,800	252,000
丹波	笹尾	トチュウ谷他	2	320,760	288,000
	西階	向井峠	1	557,700	492,000
	富田	尾根谷他	1	70,200	63,000
計			30	7,981,980	7,161,000

緑の雇用(フォレストワーカー)研修下刈実習

公益財団法人京都府林業労働支援センターでは、府内の各事業体に就業されて間もない方を対象に林業の現場技能の習得を目指す「緑の雇用」研修を毎年実施されています。今回、当森林組合の現場作業員2名も研修生として参加し、その他、南は宇治田原から北は福知山までの各事業体で従事する計26名の研修生が、京丹波町大朴地内において当組合職員を講師として下刈実習が行われました。近年は下刈や枝打と言った保育作業が少なくなっていますが下刈は植えた苗木が雑草に被圧されない様に刈払う森林整備の中でも重要な作業です。実習当日は猛暑の中、刈払機の点検から始まり、現場に潜んでいる危険を洗い出し「怪我をしない、させない」を念頭に早速作業に取りかかりました。思うように作業が進まない実習生や、下刈作業経験者でスムーズに作業される実習生等ペースは様々でした。休憩中に実習生同士で「こうゆう風にやったらやり易い」「あのクリの木のところでスズメバチを見たし、近づくな」「自分達が下刈した現場を振り返ると達成感がある」と慣れない作業で苦戦しつつも前向きな話しを聞くことが出来ました。

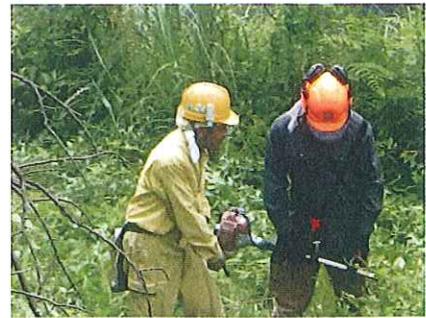
近年、林業界にも高性能林業機械等が導入され安全性、効率性が確保されつつありますが、それでも人力に頼らなければならない作業種もあり、依然として労働災害が多い産業です。特に夏場の下刈作業はベテランの作業員でも苦戦されます。今回の実習を経験され、現場作業の大変さ、また、必要性等をそれぞれ感じて頂けたら幸いです。今後も各事業体で安全を最優先に作業にあたって頂きたいと思っております。



(始業前の点検・打合せ)



(下刈作業実習風景)



(講師による実習指導)

京丹波●食の祭典2019へ参加しました。

今年も恒例の「京丹波●食の祭典2019」が10月27日(日)、京都府立丹波自然運動公園において開催され、当組合も昨年に引き続き参加しました。表紙の写真はその模様です。

今年は木工教室・丸太切体験に加えハーベスタ、グラップル付き10tトラックを会場に持込み実演を行いました。また、輪切りにした丸太を積み木のように積み上げお客様から拍手を頂いたり、ハーベスタの操縦席に乗って記念写真を撮影してもらうなど、終始見物の方の流れが止まらないほど盛況でした。



組合員名義変更手続き相談会の開催について

当組合では、組合運営の基本となります組合員名簿の整理を進めるため、令和元年9月27日(金)・桧山公民館を皮切りに瑞穂地区、丹波地区、和知地区の順に組合員名簿変更手続きの相談会を開催しております。町内を14ブロックに分け、各会場へ森林組合職員が出向き、会場へお越しいただいた組合様の名義変更に関する手続きの対応をさせていただきます。おかげをもちまして、瑞穂地区については10月9日の質美地区、丹波地区については11月6日の下山地区で終了しております。ご来場いただいた組合員様、また、お問合せ頂いた組合員様につきましては、お預かりした書類について今後手続きを進めてまいりますので、証券がお手元に届くまで、今少しお時間を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

尚、開催にあたりまして、各地区の総代様には大変お世話になりましたことを誌上ではございますが御礼申し上げます。

今後は和知地区において12月頃から6会場で開催を予定しており、これまでと同じく、総代様を通じて開催のお知らせをさせていただく予定です。組合員の皆様、総代様にはお世話になりますがよろしくお願いいたします。

組合員様の異動(名義変更・加入・脱退)につきましては、京丹波森林組合定款に基づき、ご本人(又は相続・譲渡等により譲り受けられた方)からの申請によるのみ変更等の手続きが出来ることとなっております。異動に伴う各種手続きにつきましては、組合事務所でも随時対応しておりますのでお問い合わせをお待ちしております。また、遠方の方につきましては、郵送等でのやり取りも可能ですので、よろしくお願い致します。

※ 現在有効な出資証券は、森林組合合併以降の平成18年12月20日付けの京丹波森林組合発行の証券のみとなっております。